

科目ナンバリング		U-LAS21 20006 SO48							
授業科目名 <英訳>		ドイツ語ⅡB D2164 Intermediate German B				担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 高田 緑	
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	金2		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
ベルトルト・ブレヒト（1898-1956）の演劇作品『ガリレイの生涯』（1943初演）を抜粋しながら読む。短い台詞を読み、物語の展開を理解していく。									
[到達目標]									
ドイツ語を身につけると共に、作品の読解を通して、ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下がブレヒトと本作品にどのような影響を与えたのか、理解を深める。									
[授業計画と内容]									
ブレヒトは、1933年にナチスが政権を掌握すると、ドイツからの亡命を余儀なくされました。『ガリレイの生涯』は、その亡命中に執筆された作品です。ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下、第二次世界大戦の終戦という出来事を経て、本作品には場面の削除や書き換え、あるいは場面の再採択が反映されたデンマーク版（1938/39年版）、アメリカ・英語版（1944/47年版）、ベルリン版（1955/56年版）が存在します。 本演習では、ブレヒトの変更について解説を加えながら、ベルリン版のテキスト（抜粋）を読解します。本作品は、ブレヒトの自伝的特徴を持つ作品でもあり、原子劇と呼ばれる原子爆弾をテーマとした演劇作品群の先駆的作品でもあります。ドイツ語の知識のみならず、作品の読解を通して、作品が書かれた時代背景への理解を深め、科学者の責任と権力への問いに取り組みます。 読解には初級ドイツ語の知識が必要ですが、予習に必要な語彙解説を随時配布し、受講者の理解度に応じて適宜、進度を調整します。また、毎回の授業内に分詞、受動文、接続法などの項目を定めて練習問題に取り組む時間をとります。									
第1回 ガイダンス									
第2～14回 Leben des Galileiの講読									
≪期末試験≫									
第15回 フィードバック（方法は別途連絡する）									
[履修要件]									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
[成績評価の方法・観点]									
テキストをていねいに輪読するため、平常点(50%)、それに定期試験(50%)を加味して総合的に評価する。成績評価基準の詳細については授業中に説明する。									
[教科書]									
プリントを配布する。									
-----ドイツ語ⅡB D2164(2)へ続く↓↓↓									

ドイツ語ⅡB D2164(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回、単語の意味を調べ、訳を作成する予習が必要となる。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]